

令和5年6月20日



しほり
森づくり集団「葉」事務局通信 Vol.173号

【今月のお知らせ】 【今月の活動報告】 【次回の活動予定】
【お知らせ/募集】 【編集後記】



2023.6.4下富第3フィールド

ウラナミアカシジミです。
コナラやクヌギの林で見かけますが、埼玉県の絶滅危惧Ⅱ類です。

【今月のお知らせ】

所沢市のみどりのパートナー活動支援事業の補助金交付が決定しました(チップソー10枚24,800円、下刈り100,000円、計124,800円)。

【今月の活動報告】

5月26日(金) ~27日(土)

北杜市あおぞら共和国

参加者 / 豊島、土金、渡部

活動担当者 / 畑

5月26, 27日、ウツギなど初夏の白い花があちらこちらに咲く、南アルプスのふもとにある認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワークのレスパイト施設「あおぞら共和国」の草刈りボランティアに葉より4名が参加し、他のボランティア13名と共に活動して来ました。

他のボランティアと異なり、葉メンバーには、草刈り作業に先駆けて1日早く作業を開始し、あおぞら共和国の森の危険木を伐倒するという特殊なミッションがありました。高度の伐倒わざを持つ、渡部さんを他メンバー3名がサポートする体制で実施しました。

危険木の1本は樹高約25Mのアカマツが根返りを起こし、コナラにかかり木になって、下の園路の上部に横たわるという超危険な状況になっているものでした。まだ土に埋まる株から主幹を切り離して、下部より達磨落とし方式で木を立てて行き、からみを緩めた上で、ロープで横に牽引して外すという戦略で、無事落とすことが出来ました。(写真1)



写真1 かかり木の伐倒

もう一本は樹高約30Mの枯れたアカマツで、これも放置しておく、ロッジ敷地内に倒れ込み、ロッジを損傷したり、ロッジ利用者を直撃する危険もある高木でした。

ロッジ敷地方向に倒さず、限られたスペースの森の中に倒すことが要求され、これは、渡部さんならではのルールカットという伐倒方向を倒れて行く最中に

も長時間、制御できる手法で倒していただきました。カッティングに時間がかかるのが難ですが、そのため待つ間、「テンションをかけるためのロープのボトムアンカーに使った私の車に万一のことがあれば愛車が・・・」という、渡部さんには失礼な妄想までしてしまい、豊島さんには怒られました。しかし、そんな妄想は吹き飛んで、無事、狙った森の中に倒すことが出来ました。既に到着していた他のボランティアも高木が倒れる時の迫りに息を飲んでいました。(写真2, 3, 4)



写真2 枯れた高木アカマツの伐倒 (その1)



写真3 枯れた高木アカマツの伐倒 (その2)



写真4 枯れた高木アカマツの伐倒・レールカット

これらの初日大きなミッションを無事、終えて、他のボランティアと一緒に温泉に行き、夕食は顔なじみの皆さんとの交流で賑やかに過ごしました。新潟より参加されたボランティアさんが持参された村上の日本酒は格別の味で、また地元産素材がふんだんに使われたケータリング弁当も美味しかったです。

2日目も良い天気であり、全員、6時までには起床して既に張り切っている状況で、朝食を終えるや、9時開始の予定を早めて7時には草刈り作業を開始しました（写真5）。9時頃到着の当日参加組は既に進んでいる作業にあっけにとられていましたが、皆さん急いで作業に加わって。10000㎡の敷地とその周辺で約13000㎡の範囲の草刈りを計17名で、11時には終了してしまいました（写真6）。さらに、午前中には全部の集草作業まで終えてしまうという驚くべきスピードでした。それでも途中休憩はしっかり取り、地元から参加のボランティアさん持参の自作ブドウジュースや果物など味わったり、談話をしたりと、作業とコミュニケーションの両方をしっかりと両立することができ、実に密度の濃い充実した活動を行うことができました。



写真5 草刈り



写真6 草刈り後のボランティア全員集合写真

想定外に早く終わったために、午後は翌日予定していた車で20分の尾白川溪谷へのミニハイキングを、帰りを急がないメンバーで行いました。尾白川の溪谷道歩道は千ヶ淵より先は、交通止めで行かれませんでしたが、花崗岩の溪谷の迫力と水の豊富さを味わって来ることはできました。途中、コアジサイの白い花、ヤマザクラの赤い実など自然観察もでき、午前中の疲れが残っている身体には丁度よいミニ・ハイキングでした。

この日も泊り組は、当ボランティアでは初めての尾白の湯という日本最高の塩分濃度を誇る温泉に行き、疲れを取った後に、ロッジに戻り、前夜に続いての懇親会を行って、今回のボランティアを打ち上げました。

今回は、単なる草刈りでなく、危険木除去というあおぞら共和国利用者の安全確保上、重要なミッションを葉により成し遂げることができ、いつもよりも一層充実した遠征だったと思います。ご参加の皆さんありがとうございました。

次回、秋のあおぞら共和国草刈りボランティア遠征は、9月22日23日（予備24日）の予定です。是非、ご予約よろしくお願ひします。

（担当 畑）

5月28日(日)

下富第1フィールド



塚本さんが倉庫の隣のスギの枝打ちをやっていました。

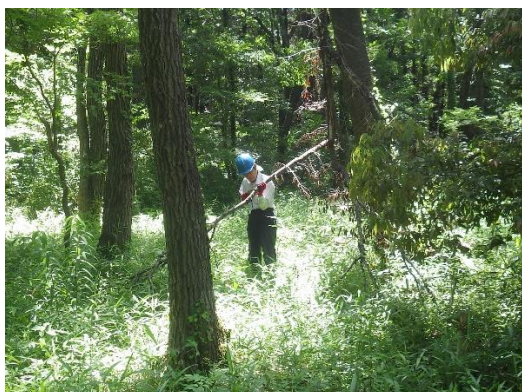
ありがとうございました。

6月4日(日)

下富第3フィールド

参加者 / 豊島、中島、畑、渡部、松田、坂本
活動担当者 / 土金

第3フィールドの下刈りを実施しました。



支障木を処理し、刈り始める。



フタリシズカやヤマユリなどを残しながら刈り進め。



下刈り完了。



お昼は爽やかな風を受けながら歓談。



枯れたエゴノキを倒し、木に結び。



3月に菌打ちしたほだ木を並べ、本伏せ完了。

【次回の活動予定】

7月2日(日)は、第2フィールドで下刈りを行います
集合は10時に第1フィールドです。

参加者募集のお知らせ

森づくり集団「^{しほり}葉」は、毎月第1日曜日に所沢下富のくぬぎ山で里山の手入れを行っています。

会員のほとんどが森林インストラクターの資格を取得し、初めての方には危険防止のための注意事項、作業方法を丁寧にご指導いたします。

私たちは10年以上にわたり目的に応じた森の手入れをして、経過を観察し、新しい発見、新しい取り組みを楽しんでいます。

また、植物の観察会、子供のための観察会、森の手入れ研修会などを企画していますので、ご興味のある方はぜひご参加下さい。

連絡先は下記事務局まで

【編集後記】



アポイクワガタです。

アポイ岳はカンラン岩に適応した高山植物の固有種がたくさんある花の山です。

土金

森づくり集団「^{しほり}葉」事務局
アドレス info@mori-shiori.sakura.ne.jp
ホームページ <http://mori-shihori.a.la9.jp/>
事務局 緑川睦子